

6 今年度の重点項目に対する総合評価

今年度についても5つの重点項目に対して、9つの分掌でそれぞれ重点課題と達成目標を設定し、取り組みを進めてきた。主な変更点等として、生徒の学習に対する取り組み方や授業内容の理解度、満足度に関する状況調査をアンケート方式で行った。

重点課題に定めた9課題の評価結果は、A（達成した）4課題、B（ほぼ達成した）2課題、C（やや不十分だった）3課題であった。

(1) 学習活動では4つの重点課題に取り組んだ。教科指導の充実と確かな学力の向上を目指して、生徒間の学び合い教え合いを推進するとともに、教員が互いに授業を参観する機会を通して授業改善に取り組んだ。

また、検定・資格取得の充実では全商1級3種目合格者数を90名以上を目標とし、1月には学校全体で7限補習授業や自由参加の学習会を実施するなど、生徒が学習内容を十分理解できるよう配慮した。

模擬株式会社「TOMI SHOP」を通じた体験学習の充実について、社会人基礎力を内容とした効果測定をループリックによって行った。また、本年度は、生徒相互評価も取り入れた。この結果を生徒の評価のみならず、今後の体験学習の充実（指導と評価の一体化）に生かしていきたい。

(2) 特別活動では2つの課題に取り組んだ。部活動については、全国大会出場はもとより、全国優勝など優秀な成績を収める部もあり、競技力向上への地道な努力が結果に結びついている。本年度も、生徒に個人目標を設定させ取り組ませた。部活動を通じ

てさらに生徒個々の可能性の伸長に努めた。

読書活動では、来館を促す方策、選書の工夫、館内の展示、配架・ディスプレイの工夫、おすすめ本の紹介、教科・学年との連携による調べ学習用の蔵書の充実など、読書環境の整備に努めた。さらに、教養講座などの図書館行事においても、生徒を引き込む工夫を行った。

(3) 学校生活では2つの重点課題に取り組んだ。策定した「いじめ防止基本方針」のもと、定期的ないじめ防止に向けた取り組みを行った。いじめが起こった場合の早期対応を図っている。具体的な対処法について、事例を踏まえ蓄えていきたい。

また、全校集会、各種講話などを通して、事故やけがの防止に関する意識の向上を図っている。事故の発生率は、昨年と同程度であり、部活動中の事故、登下校時の交通事故発生率が依然高い現状である。

(4) 進路支援では、担任、学年との連携を密にし、生徒の進路希望状況の把握、進路情報の適切な提供、面接・小論文指導の充実など、多様な生徒の進路希望に応える取り組みを行った。卒業時の進路満足度調査では、98.2%の生徒が満足していると答えた。

(5) P T A活動では、会議や行事の日程設定を工夫するとともに、事前に保護者の希望を集約し、喜んで参加してもらえようような研修会を立案するなど、積極的なP R活動を継続していきたい。

7 次年度へ向けての課題と方策

「富山商業のめざす人物像」を踏まえ、次のような観点から教育活動の充実を目指していきたい。

- (1) 基礎学力の向上を図り、ビジネスを理解・実践する力を身に付け、高度な資格取得にも積極的に挑戦させる。
- (2) 挨拶や服装指導などを通して、基本的な生活習慣を確立させるとともに、人格の完成を目指し、コミュニケーション能力を高めるための教育活動の充実・改善に努める。
- (3) 生徒が将来の職業生活を見据え、主体的に進路を考えることができるように支援に努める。
- (4) 模擬株式会社「TOMI SHOP」など地域社会や保護者と連携した活動を通じて、勤労観・職業観の育成に努めるとともに、地域社会に貢献できる職業人を育成するための教育活動を推進する。